

自然と文化、人がかがやく平林

平林地域まちづくり新聞

Vol. 4
2013年
3月31日号



ご自身の体験談を交えてお話される
かわだ けいこ

“うちの实家”代表 河田 珪子さん

まちづくり研修会 ～誰もが心地よく暮らせる地域を育てるために～



2月17日（日） 平林ふれあいセンター

私達の住む、この平林地域も、近年目に見えて子供の数が減り、高齢者が増えてきました。少子高齢化に歯止めをかける取り組みは当然必要ですが、今現在生活している私たちが、誰もが心地よく暮らせる地域にするため、今できることを考えようと、まちづくり協議会で研修会を企画しました。講師には、12月に女性研修で視察させていただいた、新潟市の“常設型地域の茶の間 うちの实家”代表 河田珪子さんにお出でいただき、日本で初めて地域の茶の間を立ち上げるまでの体験談や、その熱い思いを伺いました。

「誰かに会いたい。」「誰かとお茶飲みや食事をしたい。」「居られるところが欲しい。」「ほんの少しの間、介護や子守を代わって欲しい。」こんなささやかな願いをかなえる場として出発した居場所づくりが、地域の茶の間へと発展し、全国的に広がりました。

河田さんはその実践から、「今、日本人に求められているものは、社会構造の変化の中で、多くの人々が失った人と人とのつながりの再生、そこから生まれる安心社会の再構築でしょう。誰にでも手軽に始められて、誰でも参加できる「居場所」づくりへの取り組みは、地味ですが継続することで実に多くの効果が期待できます。」と話していました。

参加した80名の地域の人達は、時に笑い、時に涙ぐみながら河田さんのお話に聞き入っていました。

“うちの实家”とは？！

河田珪子さんが代表を務める新潟市にある空き家を利用した常設型地域の茶の間。

会員制で、誰でも利用できる居場所。

河田さんの取り組みが評価され、全国に地域の茶の間が広がる。地域づくり総務大臣賞はじめ数多くの賞を受賞する。

“うちの实家”は、その目的を達成したとして、当初の予定通りH25.3月末で終了しました。



女性だけで行く研修視察 H24.12.1（土）新潟市 “うちの实家”

地域の将来について一緒に考えてもらおうと、平林地域の女性の方に呼びかけたところ20名の方が、研修視察に参加してくれました。河田さんと直にお話することもでき、感銘を受けて帰ってきました。



参加者の声

- ・明日は我が身、隣近所集落のつながりが大事だと思った。
- ・親戚よりも隣近所が頼りになると思った。
- ・一人暮らしの高齢者、空き家が増えてきたのでこれから役に立つ話だった。
- ・母親を長年介護してきた。自分と重なる部分があって幾度か涙ぐむことがあった。大変いい研修会だった。
- ・心のバリアフリーが一番大切だと感じた。
- ・この地域も介護予防とか、地域で出来る子供の支援とかしていかなければいけないと思った。
- ・隣のおばあちゃんのズボンを上げるくらいは、みんなが出来るような地域になっていけば、介護予防や、引きこもり防止につながるのかなと思った。
- ・これからは、一人暮らし、老人のみ世帯がどんどん増えていくと思う。この地域で孤独にならない取り組み、地域づくりをしていかなければならない。
- ・研修したことをこれからこの地域でどうやっていけばいいのか、まちづくりで考えて、形にしていければいいと思った。神林で宅配給食サービスの配達をしているが、行くだけでも安否確認が出来るし、話をする事も出来る。何か出来ることがあるのではないかと考えている。



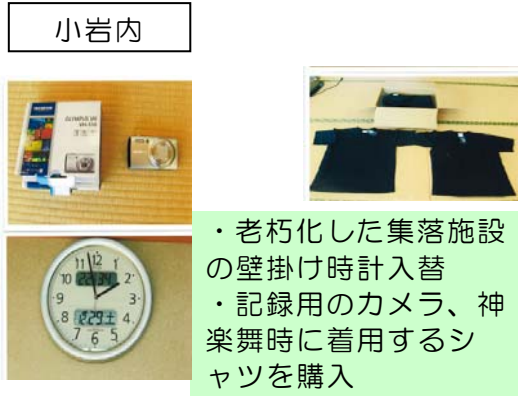
DVD を配布します。

河田さんの取り組みの様子を記録したDVD(4種類)を、4月12日総会時に各集落にお配りします。集落の集まり、茶の間の時間などに、是非ご活用ください。

24年度集落の活動
まちづくり協議会では、少しでも集落の活性化に役立ててもらおうと、集落が関わる活動に対して支援を行いました。



松沢 松沢区地域資源探求開発事業



小岩内
・老朽化した集落施設の壁掛け時計入替
・記録用のカメラ、神楽舞時に着用するシャツを購入



川部 川部大神楽の伝統継承



湯ノ沢 区民運動会



葛籠山 区民防災訓練と炊き出し



平林 平林集落史跡整備



宿田 宿田そば祭り

平林地域まちづくり協議会 運営委員

25年度で交代する運営委員：(小岩内) 高橋清重→高野博光 (川部) 佐藤義晴→佐藤一嘉 (平林) 舟山義久→斎藤清 大変ご苦労様でした。これからもご協力をお願いします。



平林地域まちづくり協議会について
のお願い 佐藤幸夫 (川部)
この平林地域には、「国指定史跡平林城跡」、「日本一きれいな一級河川荒川」や「日本一美味しい岩船米などの食材」等素晴らしい資源がたくさんあります。
しかし残念ながらこれらの素晴らしい資源が、県内外のほかの地域の人達に知れ渡っているとは、必ずしも言えません。何とかこれらのたくさんの素晴らしい資源をうまく活用し、この地域が活性化して、誰もがこの地域に住んでよかった。また、子ども達が将来もこの地域に住みたい、住んでよかったと思う地域にしなければならないと考えていますので、一人でも多くの方から「平林地域まちづくりについて」のご意見を各集落の運営委員に届けていただければ幸いです。
また、地域づくりの事業実施に当たりましても、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

小池 安雄 (湯ノ沢)
H23年10月から設立準備委員として参加し、当初は準備委員だけの事でしたが、区からの依頼で引き続きまちづくり協議会に携わり、1年間活動してまいりました。特に、秋に行われた芋煮会は初めての割には大成功だったのではと、私自身は思っております。もう1年任期が残っておりますので、精一杯務めてまいります。出来れば、まだ何かの形で携わっていきたいと思います。

斎藤 清 (平林)
本年、平林区総会において評議員に選出され、地域まちづくり係を任命されました。昨年は各種団体(せせらぎの会)に所属、平林集落のまちづくり行事(お不動様再建)に参加、多くの区民の方々も何らかの形で参加できたのではないかと考えています。
前任者の舟山さん同様よろしくお願い致します。

佐藤 弘 (松沢)
まちづくり協議会の運営委員になった事をきっかけに、これまでとは違うことに関わりを持つことが出来ました。様々な人の考えや、情報を得られることも出来ました。
まちづくり事業の中で特に印象に残っているのは、地域交流事業として平林地区内のウォークラリー、水辺の楽校での芋煮です。天気にも恵まれ、たくさんの方に参加してもらいました。ゲームやクイズ、獅子舞も楽しんでもらい、各集落の芋煮、豚汁など美味しかったと思います。何度も委員で計画、話し合い、前日からの準備、当日の係りを頑張った事で、多くの笑顔を頂き、喜びになりました。
小さな輪が地域の大きな輪につながればよいなと思いました。

佐藤 一嘉 (川部)
小さいときより集落の山や川で毎日遊び、自分の住んでいる場所に愛着を感じて生活しております。又、集落の歴史については深く関心を持って古いことが大好きです。幼い頃より神楽芸にも参加し親しんでいます。今回まちづくり協議会に参加できて大変楽しみです。

定期総会 4月12日(金)
午後7時より
平林ふれあいセンター
24年度の事業・決算報告と25年度の事業計画、収支予算について審議します。傍聴も出来ますので、是非お越しください。

【編集後記】 平林地域のまちづくりに関わって2年。知っているようで知らなかった事、隠れた資源、お宝をたくさん発見することが出来ました。しみじみ平林地域って、神林ってほんとにいい所だなあと感じています。そして何より一番の財産は、「ひと」ではないでしょうか。この地域の温かな人々に支えられて、楽しくまちづくりに関わらせてさしてもらいました。皆さまのご協力に、心から感謝申し上げます。協議会の活動も2年目を迎えます。より多くの方々の力を集めて、一人ひとりが輝ける地域になるようお手伝いしていきたいと思っております。
平林地域担当：鈴木

地域の情報をおよせください。
ご意見・ご感想・問い合わせは
■神林支所地域振興課自治振興室
■電話・告知端末 66-6122
■自治振興室メール
k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp